



# 袋井市が進めている官民共創の取組について

## ～ 連携から共創へ ～

令和4年8月30日  
静岡県袋井市

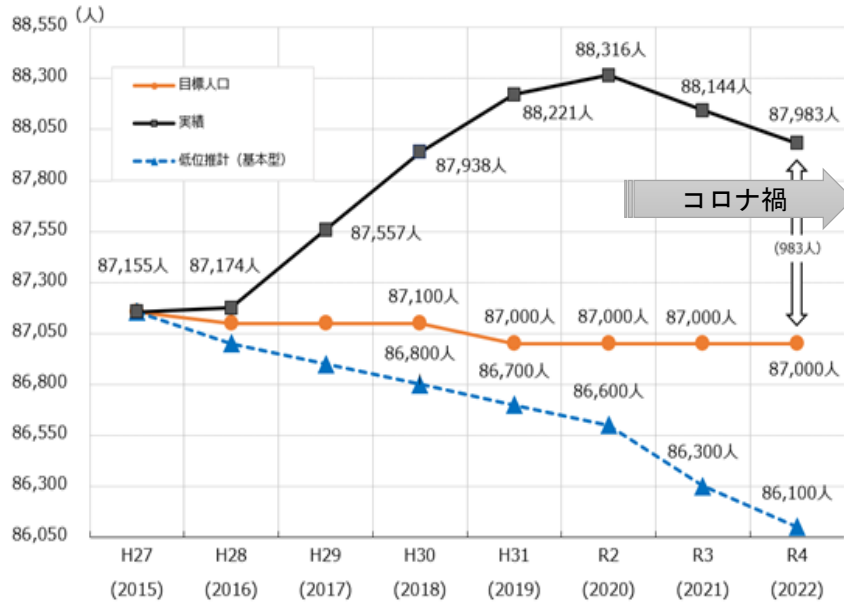
袋井って、どんなまち？

(This is ふくろい)



# 袋井市のまちの概観

本市人口は **87,983人** (R4.4.1現在 前年対比 161人減)



## ①出生率

**子どもが多いまち**

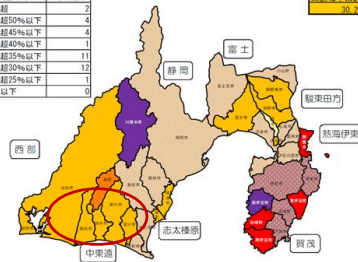
令和元年合計特殊出生率(前年比)

国 1.36 (▲0.06)  
県 1.44 (▲0.06)  
市 **1.57 (▲0.10)**



＜令和4年4月1日＞

| 高齢化率      | 市町村数 |
|-----------|------|
| 50%超      | 2    |
| 45%超50%以下 | 4    |
| 40%超45%以下 | 4    |
| 35%超40%以下 | 1    |
| 30%超35%以下 | 11   |
| 25%超30%以下 | 12   |
| 20%超25%以下 | 1    |
| 20%以下     | 0    |



## ②高齢化率

**県内23市で一番「若いまち」**

県の高齢化率 過去最高の30.2%

**袋井市:25.0%**

| 増加数(人) |           | 増加率(%) |         |
|--------|-----------|--------|---------|
| 1      | 袋井市 2,093 | 1      | 長泉町 2.4 |
| 2      | 菊川市 1,060 | 2      | 袋井市 2.4 |
| 3      | 長泉町 1,034 | 3      | 菊川市 2.3 |
| 4      | 掛川市 387   | 4      | 掛川市 0.3 |

| 減少数(人) |            | 減少率(%) |           |
|--------|------------|--------|-----------|
| 1      | 静岡市 11,230 | 1      | 西伊豆町 13.9 |
| 2      | 浜松市 6,825  | 2      | 川根本町 13.7 |
| 3      | 沼津市 6,022  | 3      | 下田市 11.9  |
| 4      | 熱海市 3,311  | 4      | 松崎町 11.7  |
| 5      | 伊豆市 3,053  | 5      | 伊豆市 9.7   |

(出所) 令和2年国勢調査[県人口速報値]

## ③外国人の転入増加傾向

**外国人市民比率: 5%**

35市町のうち31市町で人口が減少、4市町のみ増加



観光交流客数: **478万人** (R元)



輸送機器・家電・食品  
サービスなど多様な職場



# 袋井市ってこんなまち





ラグビーW杯 日本ーアイルランド戦 / 世界ランキング2位の優勝候補を19 - 12で撃破



「ラグビーワールドカップ2019TM 日本大会」で5Gプレサービスを提供



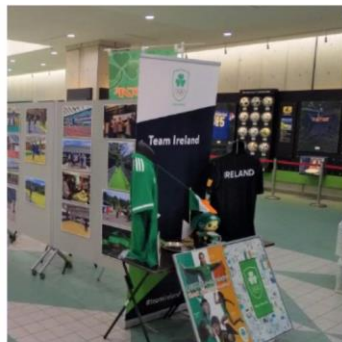
2019.10.4@小笠山総合運動公園「エコ/スタジアム」



## アイルランドと袋井市が東京五輪事前キャンプ地覚書締結



吉林堂  
アイルランドの紹介コーナー



アイルランドとのつながりが生まれた地  
エコパスタジアム特別展



グリーンライトアップ  
駅前北口野外モニュメント「燦SUN」



グリーンライトアップ  
田端東遊水池公園シンボルツリー



袋井図書館  
アイルランド関連図書の特設コーナー



7人制女子ラグビー大会  
鈴与・セントパトリックグリーンカップ



CIR (国際交流員) として活躍  
アイルランド出身のレイチェル



# 官民連携の取組

## ～地方創生の一環として～

# 世界で戦える農産物とビジネスモデルの確立



## 地方創生 やらまいか通信 vol.123

輝く未来へ今、袋井が動き出す！～挑戦するDNAを呼び起こせ～

発行日：平成30年1月12日

地元食材に再注目。  
果物離れの問題に、  
菓子屋として取り組みたい。

**クラウンメロン**

クラウドファンディングにて  
多くの支持を受けて誕生しました！



「日本人の果物離れ」という課題解決に向け、  
クラウンメロン支所と春華堂が協力。  
メロンの美味しさや魅力を知って貰うさっ  
かけとなればと、クラウドファンディングを  
通じて商品を完成させました。



### 東京都内でイベント開催

★ラベ松本一平とメゾンジブレイ江森宏氏による  
「クラウンメロンで奏でる2日限りの宴」

★クラウンメロンでフォトジェニック！  
「スイーツ作り体験やカービング体験教室」



### アイスクリームの世界大会チャンピオン メゾンジブレイの江森宏氏が監修

商品監修は世界的なパティシエの江森氏に打診。  
「果物離れ」というテーマに共感した江森氏が春華堂の  
パティシエがタッグを組んで「本物の味」のジェラートを  
開発。なめらかな舌触りと、口いっぱいに広がるクラウ  
ンメロンの豊かな味わいをお楽しみいただける一品です。



## 地方創生 やらまいか通信 vol.228

輝く未来へ今、袋井が動き出す！～挑戦するDNAを呼び起こせ～

発行日：令和2年5月12日

**CROWN MELON 摘果メロンが  
ピクルスに…！**

～ 子役が大抜擢 ～

### ～ 待望のピエールエルメとのコラボが実現 ～

Made in ピエール・エルメ 丸の内でも販売中

静岡新聞 NEWS

Tweet

シェア

### クラウンメロンでピクルス、私有名洋菓子とコラボ 袋井

12020/5/19 07:30

袋井市の農産物振興協同組合クラウンメロン支所（中條文  
義支所長）は、フランスの有名洋菓子ブランド「ピエール・  
エルメ・パリ」の日本人「P.H.・パリ・ジャパン」（東京  
都）とコラボし、地元産クラウンメロンの子メロンを使用し  
たピクルスを17日から同支所などで販売する。

地元を盛り上げ、若者にもクラウンメロンをPRするのが  
目的。同法人のルデュ・リシャール社長からの助言を受け、  
フランスでは漬物感覚で日常的に食べるというピクルスの商  
品化が決まった。

商品は「きのことトマト」と「カレー」の2種類。同社が  
レシピを監修し、子メロンの食感を生かしながら、日本人向けに刺激の少ないマイルドな酸味に  
仕上げた。今後、新商品も追加する予定。

中條支所長は14日聞いた記者会見で、「（同ブランドは）若者から絶大な人気がある。次の  
世代まで生き残る産地に向けた第一歩になれば」と話した。

1箱220グラムで1200円（税別）。同支所の他、同市のホテル「葛城北の丸」とゴル  
フ場「葛城ゴルフ倶楽部」で販売する。

問い合わせは同支所＜電話0538（42）4146＞へ。



「ピエールエルメ」  
21世紀のバティスリーを先導する第一人者。  
その鬼才ぶりは世界的に認められ、ヴォーグ誌から  
「バティスリー界のピカソ」と称賛された。  
2016年『世界のベストレストラン 50アカデミー』  
より「世界の最優秀パティシエ賞」を受賞。

輝く未来へ今、袋井が動き出す！～挑戦するDNAを呼び起こせ～

発行日：平成 29年 5月 8日



**静岡県産のクラウンメロンを使用。**

気品あふれる香りと芳醇な味わい。  
産地や品種にこだわった果汁を使用した、  
ちょっと贅沢なハイチュウ。

旬を味わう  
**ハイチュウ**

静岡  
クラウン  
メロン

**単独商品化 & 全国販売開始!!**

産地や品種にこだわった「旬を味わう」ハイチュウシリーズ第2弾「静岡クラウンメロン味」が、5月16日から全国のコンビニや駅、サービスエリア等で販売を開始。クラウンメロンピューレを使用した「ちょっと贅沢な」ハイチュウで、大人世代の取り込みを図る。

世界的な人気商品とのコラボレーションで、国内外に向けた「クラウンメロン」認知度向上戦略を加速させる。

- ・ハイチュウアソートでの好評を受け、単独商品化が実現
- ・12本入りBOXでの販売も実施、新たな静岡土産としても提案
- ・販売期間：5月16日～7月末、全国販売
- ・県内でも多くのスーパーやコンビニ、SA等で販売
- ・毎月6日の「クラウンメロンの日」等でのPRも実施予定



平成28年に展開した  
「緑の贅沢ハイチュウアソート」

輝く未来へ今、袋井が動き出す！～挑戦するDNAを呼び起こせ～

発行日：令和元年6月17日  
発行：袋井市総合戦略室



地域活性化のためのプロジェクト

## 「Tastes of JAPAN by ANA」



特産のメロンが  
ついに、ファーストクラス（機内食）に採用！



FIRST  
CLASS

提供期間：2019.8/1～8/31

提供場所：欧米路線（日本発）

※一部路線を除く



- Explore the regions -

「Tastes of JAPAN by ANA」とは・・・

地域が誇る多様な資源を日本全土並びに海外に発信し、誘客を図ることを目的とした地域活性化プログラム  
東海北信越は、2019年6月から2019年11月までの6ヶ月間実施

本事業は、袋井市産業経済懇話会での議論を受け、エコパ（小笠山総合運動公園）を中心とした愛野エリアを「近未来技術を磨く実証フィールド」に位置付け、ヒトや技術の新たな出会いにより、既存産業やまち（地域）のイノベーションを促進させることを目的とする。

## まちを先進融合技術の Show Case に

～先進技術にいち早く触れられる「一步先の未来」を体験できる場の創出～



官  
産 学

- ・企業連携の促進（新たな出会いの場）
- ・**イノベーション促進（隣接分野の開拓）**
- ・社会受容性の検討・検証
- ・一般ユーザへの啓蒙・普及啓発
- ・先行的な市場調査・マーケティング
- ・実運用やニーズを取り入れた開発

### 実践型産学官連携

- ・次世代技術研究開発への参画と促進
- ・問題解決（PBL型※1）教育の実践

※1 PBLとは…Proplem Based Learning

- ・**近未来社会への人材育成（大学のブランディング）**

・未来を担う学生に環境に優しく安全性の高い利便性の確保された円滑な移動手段の確保

# ECOPAドリームプロジェクトの概要

## モビリティ分野

電動バス・超小型モビリティ等を活用した自動運転の実証ほか



移動制約者にもやさしい  
ラストワンマイルの自動走行etc

## マルチメディア分野

観光情報、周辺マップ、多言語対応などマルチメディア研究



未来のスポーツ観戦～高臨場技術をもとにしたバーチャル体験～



## まちを先進融合技術の Show Case に

～先進技術にいち早く触れられる「一步先の未来」を体験できる場の創出～



## 無人飛行体分野

ドローン等の活用実証フィールド  
国際ドローン競技会の開催など



空域管理でドローンの安全  
運航を実現



# ECOPAドリームプロジェクト 自動運転実証 (第2弾)



一般車両との**混合交通に挑戦!**



## 特別車で自動運転実験

袋井市の小笠山総合運動公園周辺で27日、ハンドルやブレーキがない「特別装置自動車」による自動運転の実証実験が行われた。県と市の共同プロジェクトの一環で、特別装置自動車公道を走るのは県内初。

### 小笠山周辺、県と袋井市

実証実験に使用したのは、コンチネンタル・オートモーティブ（横浜）が開発している自動運転部品の実験車両。11人乗りの



公道を走る実験車両  
＝27日午前、袋井市（写真の一部を加工しています）

### ハンドルとブレーキなし 公道走行、県内初

バス型自動車に6人を乗せ、片道1.5キロの道のりを時速12キロ程度で往復した。車両は高精度3D地図を用いて自動走行し、一般車両との混合交通や、横断歩道での一時停止の動作の正確性などを確認した。

プロジェクトは2018年、近未来技術の活用を目指し始まった。今後自動運転の実証実験を継続し、実験のレベルを上げながら技術の向上を図る。

県地域交通課の大倉篤課長は「将来的に公共交通に導入することが目的。この実験を今後に生かしたい」と話した。

（袋井支局・仲瀬駿介）

県内初

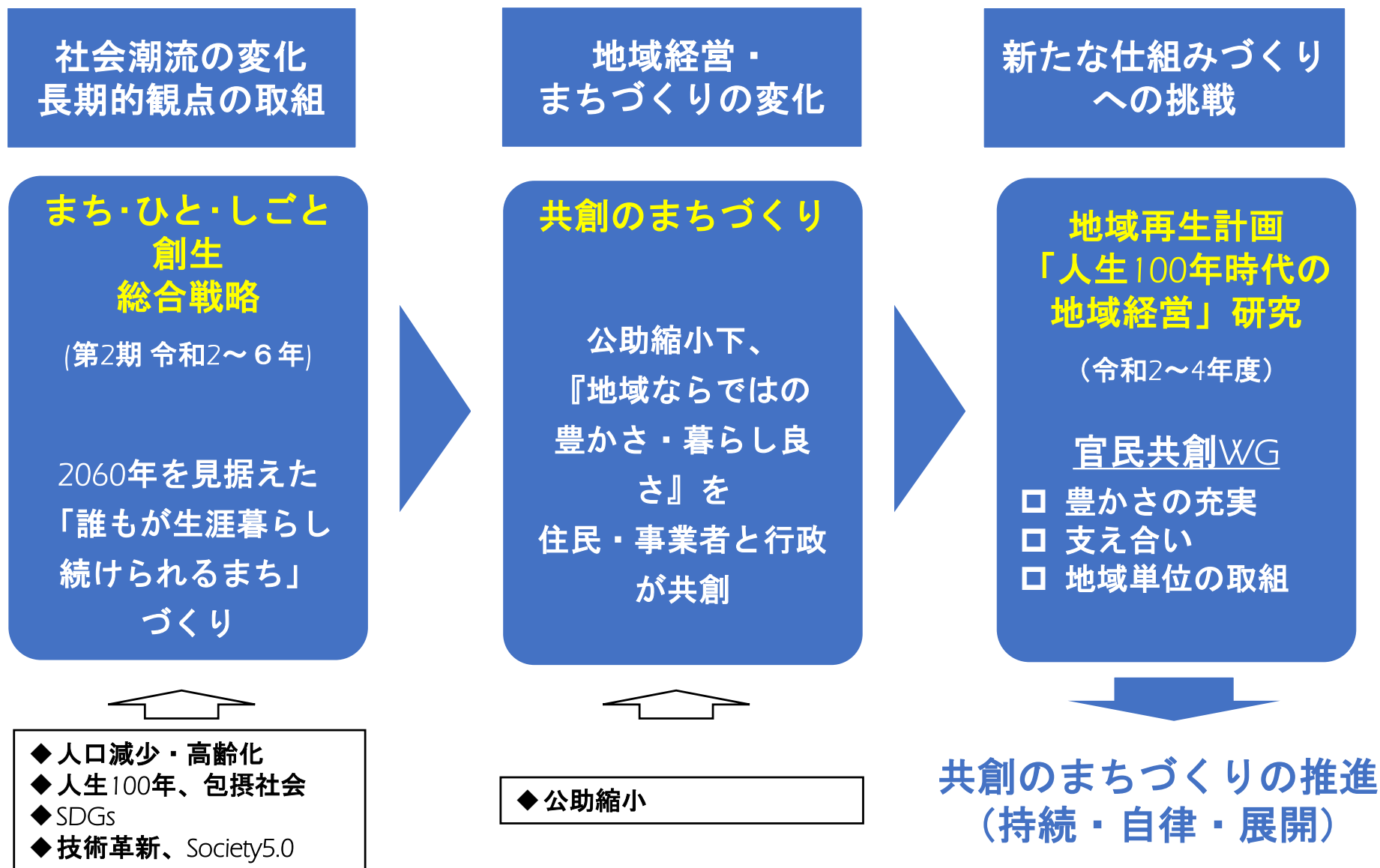
共に創る これからのふくろい

[illegible]

## 第2期「総合戦略」策定

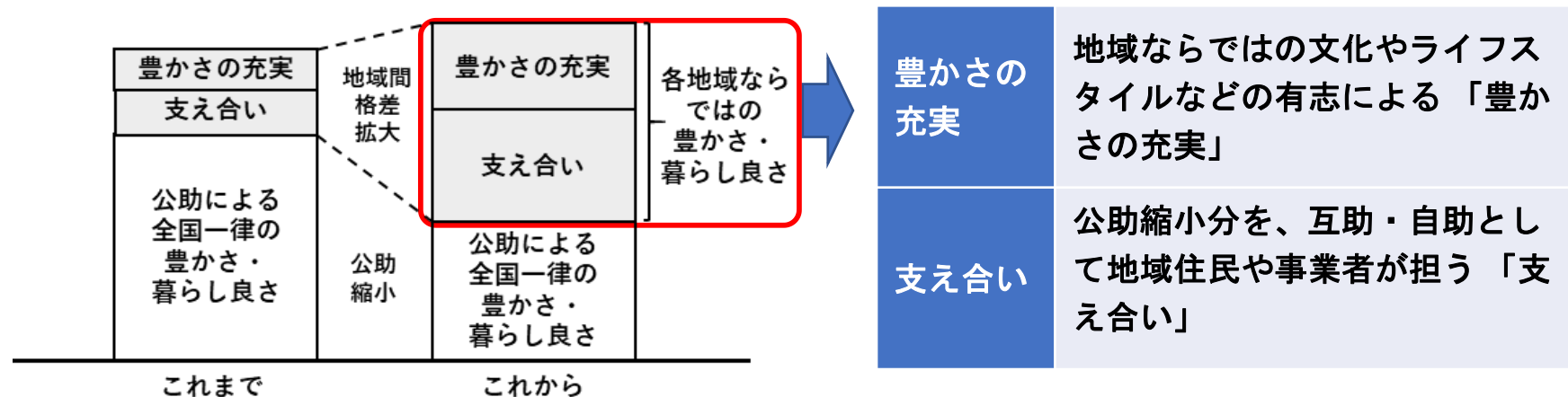
# 共創のまちづくりへの チャレンジ

# 次代を見据えた、新たな仕組みづくりの必要性



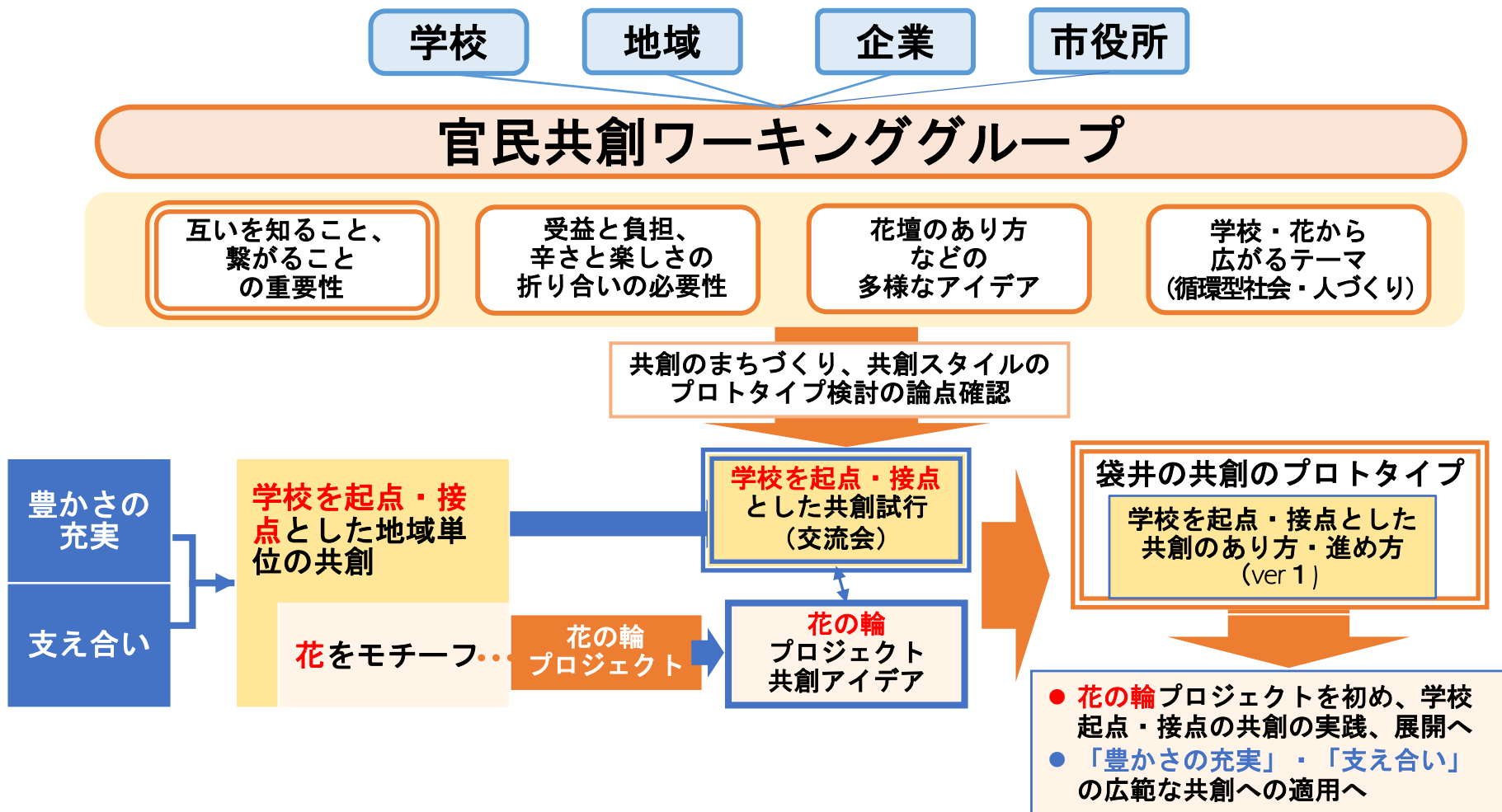
# 地域再生計画「人生100年時代の地域経営のあり方」 と官民共創ワーキンググループ

- 地域再生計画では、「まち・ひと・しごと創生」に掲げる「誰もが生涯暮らし続けられるまち」の実現に向けて、「袋井ならではの豊かな暮らし」を共に考え、共に創り出す  
「共創によるまちづくり」の推進、仕組みづくりに取り組む。
- その第一歩として、『官民共創ワーキンググループ』を立ち上げ、共創に向けた取組を試行しつつ、仕組みづくりを検討する。
- 官民共創ワーキンググループでは、「豊かさの充実」「支え合い」の2分野を視野に、共創の取組について試行的に実践することから始める。



# 官民共創ワーキングでの試行的取り組み

- 官民・多分野のメンバーが互いを知り合い、繋がりながら、共創のプロトタイプとして、『学校を起点・接点とした共創のあり方・進め方 (ver 1)』を作成・共有



## 第1回官民共創ワーキング



**趣旨に賛同いただけたメンバー（総勢40名余）**

**※庁内7部10課が分野横断で参加**

日時：2021. 11. 4 15:00  
～17:00

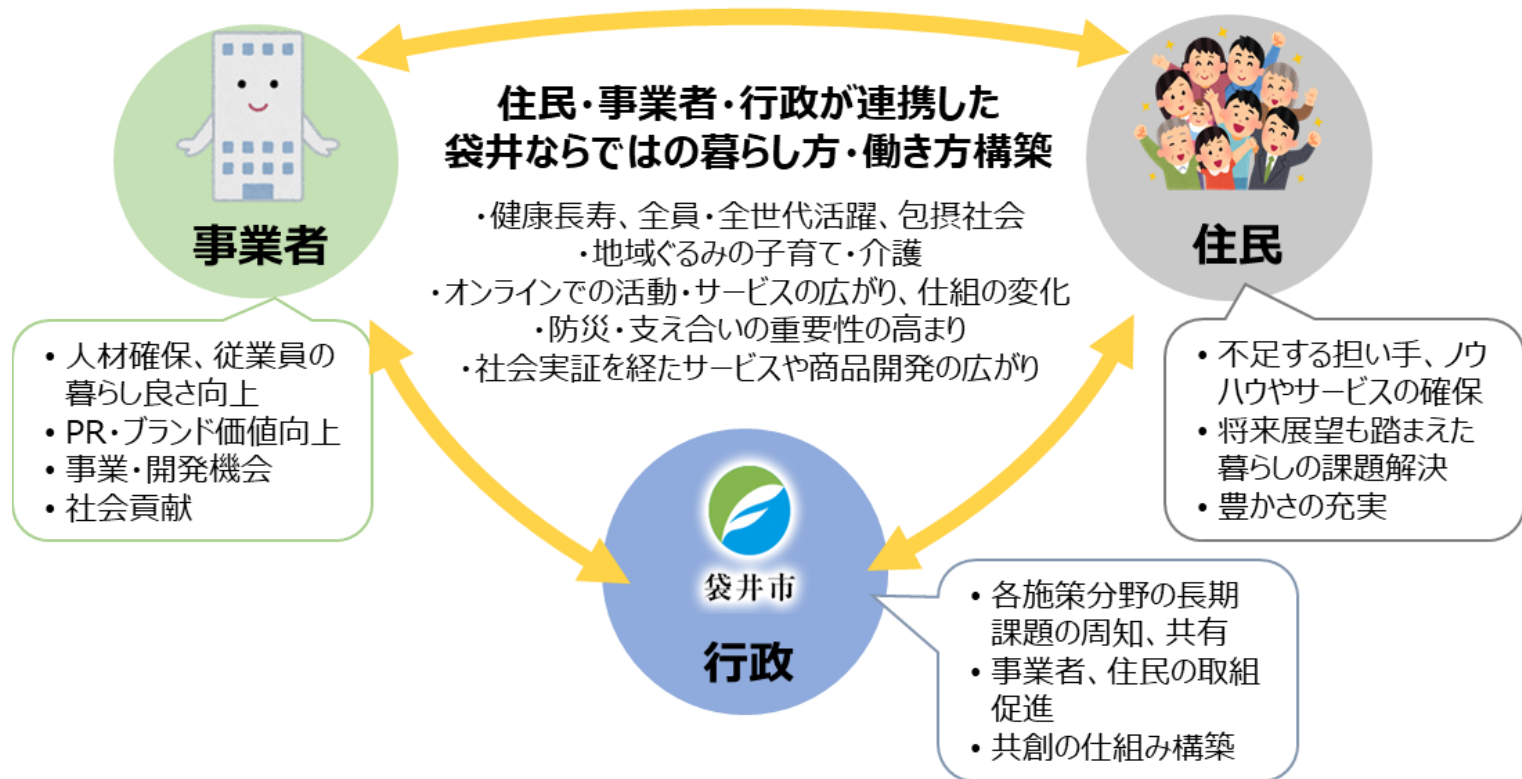
場所：袋井新産業会館キラット

（官民共創ワーキングのメンバー） R2アンケートやヒアリング結果を踏まえ、R3の取組内容を勧奨しお声掛けした方のうち、趣旨に賛同いただけたメンバー（総勢40名余）で構成  
果一閣（株式会社浅羽学園（小・中学校教頭）、コミュニティスクールコーディネーター（浅羽学園・周南学園）、花の会、浅羽南花工場、生花店経営者、ヤマハ発動機（株）、パナソニック（株）、シンコース  
（福）なごみかぜ、高砂フードプロダクト（株）、外国人就業支援事業所スタッフ、広告代理店経営者、飲食店経営者、自転車工房経営者、袋井サッカークラブほか

横断で参加 企画管理課、国際課、協働まちづくり課、学校教育課、しあわせ推進課、スポーツ政策課、健康づくり推進課、危機管理課、企画政策課、総合戦略課（事務局）・・・7部10課が分野

# 「共創のまちづくり」の考え方

- 人口減少・高齢化が進展する中、住民・事業者・行政全てが担い手不足等の課題・困りごとを抱えている。
- 互いの困りごと、希望をうまく擦り合わせ、互恵関係を築くことで、豊かさ・暮らし良さの充実や事業の持続的発展に繋げることが期待される。



# 学校を起点・接点とした共創の取組推進のための 連携のあり方、進め方（Ver.1）

- 『児童・生徒への教育の充実を前提に、学校と地域・企業が互恵的に連携して取り組むこと』を連携の方針とし、以下の項目について整理
- 当面の連携の進め方・仕組みについて、官民共創ワーキングを中核とした共創の進め方、学校の関わり方の整理・検討フレームを作成

|             |                                                                                                         |
|-------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 連携の内容       | <ul style="list-style-type: none"><li>・ 実現したい教育機会、教育的価値</li><li>・ 学校教育における位置づけ、学校の関わり</li></ul>         |
| 連携において必要な配慮 | <ul style="list-style-type: none"><li>・ 守るべきこと、配慮が必要なこと</li><li>・ 校内活動の場合</li><li>・ 校外活動の場合</li></ul>   |
| 共創・連携の取組方向  | <ul style="list-style-type: none"><li>・ 学校の関わり（学校としての活動／社会・地域活動への児童の参加）</li><li>・ 活動場所（校内／校外）</li></ul> |

# 学校×花イベント 実証 ー実施内容

## ● 『ふくろい宿 de 花マルシェ』

- “花いっぱいのまちづくり”を進める、花、園芸雑貨等の販売やワークショップのイベントに、**学校は「教育価値の向上」を、企業は「認知度の向上」**を目的に参加。
- イベント当日、生徒は花苗の販売、地元企業のPRブースの手伝いを実施。

浅羽中学校園芸部

花苗の販売（寄付）、会場準備支援

高砂フードプロダクツ(株)

培養土プレゼント

浅羽中学校園芸部生徒とのじゃんけん



# 学校×花イベント 実証 一事前準備

- 生徒たちは事前に花工場を訪問し、専門家から指導のもと、当日販売する「花苗の鉢上げ」や「寄せ植え体験」をすると共に、以下の事前学習も実施
  - ①花の会から当日販売する花苗の種類や特徴、育て方の留意点
  - ②高砂フードプロダクツ(株)と培養土との関係性（なぜできたのか？）
  - ③本市シティプロモーション担当から接客への心構え

※目指したい姿を互いが共有していたことによって実現

笠原花工場見学  
鉢上げ・寄せ植え体験



園芸部活動での事前学習  
(花の会、高砂フードプロダクツ(株)、市)



# 学校×花イベント 実証一評価

- **各主体の評価** ～単体の取組としては期待成果・共創価値を実現～
  - ・ 学校は教育価値、企業は認知度向上という、各主体の期待成果を実現
  - ・ **互いに交流・繋がり自体に価値を認め、相対での関係発展も期待**

## 学校

- ・ 生徒の社会性、主体性向上
- ・ 園芸部への専門家支援獲得

## 企業

- ・ 採用に向けて中学校と接点
- ・ 認知度向上

## 花の会・花工場

- ・ 中学校との繋がり
- ・ 多世代交流

## 市（緑化担当）

- ・ 花のある生活の普及
- ・ イベント時だけでなく繋がり

- 「共創のまちづくり」の推進に向けて ～繋がりづくり・調整の重要性と、市への期待～
  - ・ WGで検討した「花をテーマとした学校との連携」において共創価値を実現
  - ・ **異分野の多くの主体を繋げることで互恵、共創価値実現の可能性が高まる一方、調整が重要**になる
  - 相互の認知、繋がりที่ไม่十分な現状においては、市に調整の役割の期待

更なる実践&検証、仕組みづくり

／共に取り組み、互いに応援し合うことで、きっと実現できる／

～ 連携（案件受託）から共創（課題解決・事業創出）へ ～

## 共に創る これからのふくろい

一緒に始めませんか、あなたの挑戦も応援します

やらまいか通信

検索

